

放逐か？

乗務を外され日勤中の分会組合員が8月11日で「再教育を打ち切る」と通告された。「あなたの仕事は亀山運輸区にはない、後は支店の判断である」と・・・

7月17日、ワンマン列車で左ホームのドア「開」を右手で扱ったと坂下区長の指摘で日勤再教育が指定された。

これに対し、苦情申告・業務委員会の申入れを行ったが会社はこれらの会議を開催していない。

そもそも、なぜ日勤再教育か？

組合員はこれまで左手でのドア「開」に対して危険である、全てのドア扱いを右手で行うと主張してきた。また、「国土交通省の技能確認」「普段の添乗」においても右手で全てのドア扱いを行ってきた。これに対し、指摘を受けたことは一度もない。指導員にしても安全を脅かす行為とは認識していなかったのである。

今回、ミス・事故を起こした訳でもない組合員に対していきなりの日勤再教育、そして乗務不適である。これに断固抗議する。

会社は直ちに乗務復帰させよ！

2008年8月13日
亀山分会